

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	岡山御津高等学校		所在地	岡山市北区御津金川940	
敷地面積	20, 277. 93 m ²		棟数	27 棟（計画記載対象 7 棟）	
延床面積	9, 098. 84 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等）は500㎡以上 ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 5強		津波 ー		浸水 1. 0m～2. 0m未満	
建築規制	都市計画区域外				
エネルギー使用量 （ 2018 年度 ）	電気 184,098 kwh	ガス 354 m ³	水道 1,650 m ³	燃料（ 灯油 ） 2,155 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所（土砂災害、洪水、津波）協定による避難場所				

1 施設内建物の概況

名 称	普通教室棟(24棟)2-1	普通教室棟(25-1棟)2-2,3	体育館(27-2棟)13-1,4,5
築年(西暦)	1971 年	1972 年	1974 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄骨 造 2 階
建築面積	159.14 m ²	468.93 m ²	325.00 m ²
延床面積	636.56 m ²	1,834.32 m ²	1,565.91 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	職員室 音楽教室 普通教室	体育館 剣道場
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備)	電力設備(受変電設備)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適
	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適	中性化 ※3 不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適
	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	格技場(29棟)13-2,3	特別教室棟(34棟)15-1	特別教室棟(36棟)15-2
築年(西暦)	1974 年	1980 年	1981 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	705.00 m ²	320.16 m ²	459.36 m ²
延床面積	705.00 m ²	821.28 m ²	1,378.08 m ²
主要な用途 (室名等)	柔道場 生徒ホール 卓球場	化学教室 美術教室 被服教室	生物教室 多目的教室 視聴覚教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	空調設備	空調設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	特別教室棟(46棟)20		
築年(西暦)	2006 年		
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階		
建築面積	312.05 m ²		
延床面積	936.14 m ²		
主要な用途 (室名等)	介護実習室 コンピュータ室 ビジネス実習室		
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	中		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
普通教室棟(24棟)2-1	予防保全を図る。
普通教室棟(25-1棟) 2-2,3	予防保全を図る。
体育館(27-2棟)13- 1,4,5	設備等の定期更新を行う。
格技場(29棟)13-2,3	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(34棟)15- 1	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(36棟)15- 2	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(46棟)20	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール (概 要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
内部の改修を行う。
(29棟)2021年度以降設計・施工
(34棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
普通教室棟(24棟)2-1	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(25-1棟)2-2,3	予防保全			予防保全を図る。							
体育館(27-2棟)13-1,4,5	設備等の定期更新					給排水設備 消防設備			給排水設備 消防設備		
格技場(29棟)13-2,3	長寿命化改修					設計			施工 1		
特別教室棟(34棟)15-1	長寿命化改修								設計・施工 1		
特別教室棟(36棟)15-2	設備等の定期更新								給排水設備 消防設備		
特別教室棟(46棟)20	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

総額 2億円(長寿命化改修等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.3	体育館(27-2棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R6.3	・体育館(27-2棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更 ・格技場(29棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更
R7.3	・特別教室棟(36棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更